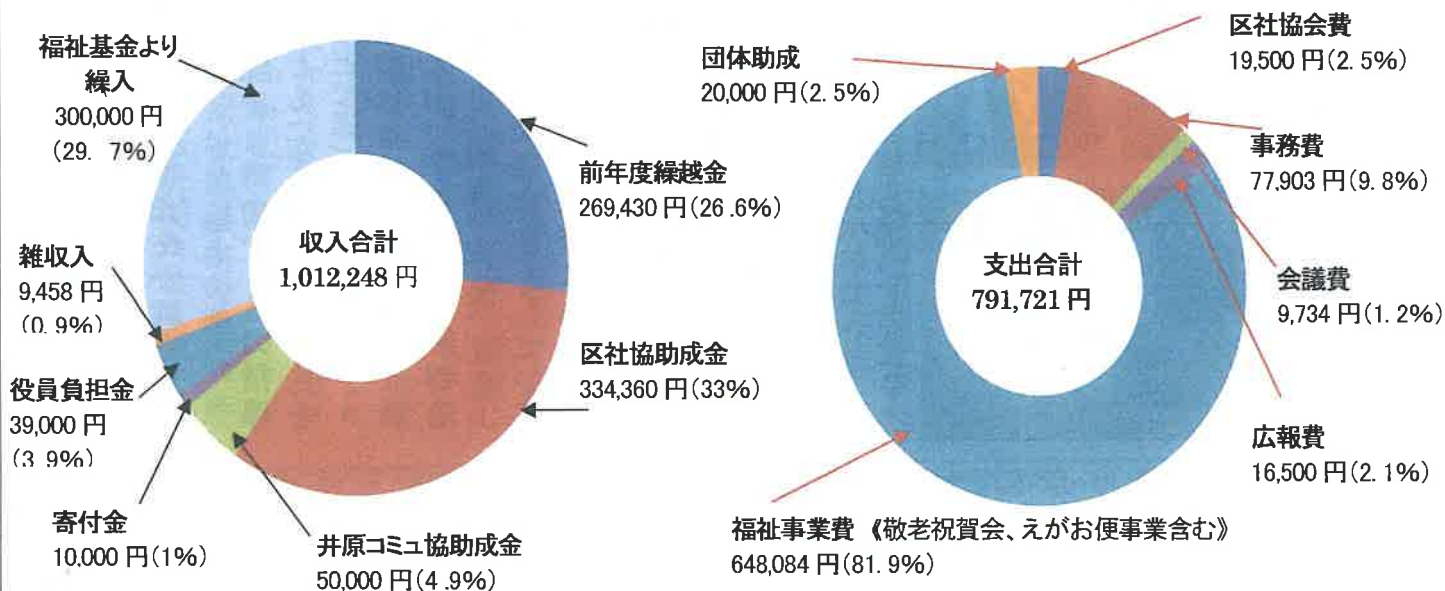


令和元年度 収支決算報告

**収入** 区社協から、まちづくり推進、地域コミュニティづくりとしての追加助成金がありました。

**支出** 新型コロナウイルス感染防止のため、年度後半に予定していた行事、会議を開催できず若干の予算執行を残しました。



令和元年度 事業報告

安全で安心して暮らせるまちづくり

- ・あんしんネットワークづくり  
(見守り活動) ブロック懇談会 中止
- ・往復ハガキえがお便による高齢者の安否確認 年10便 対象者19名

支え合い・助け合いのまちづくり

- ・福祉研修会開催 1月25日  
「おーい 聞こえますか」 参加者60名  
ひとは福祉会 寺尾文尚理事長
- ・子ども会、将棋クラブ支援

ふれあい・交流の絆で結ばれたまちづくり

- ・敬老祝賀会開催 9月16日  
出席者 93名 役員&各種団体から 60名
- ・一人暮らし高齢者の集い 12月11日  
出席者 25名 役員19名  
ギター漫談 風呂 哲州氏  
白木いづみ子ども園児と交流

- ・つくし会・えくぼ会・母子会ふれあい会  
4月~3月 5~4回
- ・いきいきサロン連絡会 中止
- ・いばら夏祭り支援 8月11日

住みやすい環境のまちづくり

- ・井原地区生活課題会議開催  
「買い物に関する社会資源リスト」回覧
- ・福祉のまちづくりプラン(第2次) 原案作成と検討

広報活動

「社協いばら」の発行 8月、1月 各550部

福祉のまちづくりスローガン

《話・輪・和 三つの「わ」で支え合うまち  
「いばら」》

# ふくろう塾と井原っ子クラブ事業

**ふくろう塾**は2005(平成17)年、井原小学校校長を退職された小松英明先生によって、留守家庭事業所としてマル愛事務所を借りて立ち上げられました。(指導者2名、事務局1名)

その目的は『小学校の授業終了後に留守家庭児童の居場所として活動を行う』と題して、放課後の遊びや生活の場を提供し児童の健全な育成の手助けを行い社会性や責任感、郷土愛を育てることでした。平日は学習、スポーツ、井原探検、野菜作り。夏休みには、子ども達の自由時間が増えるため地域の方々の協力のもと、ワークショップを開き、子ども達の居場所づくりに貢献してきました。

【希望児童のみ、自己負担あり】  
2010(平成22)年広島市プレイスクール事業へ参加し

「井原小学校放課後井原っ子クラブ」を設立し、ふくろう塾と併設になりました。この井原っ子クラブは小学校全児童が対象で、異年齢の学習、遊びを通して児童の健全育成を図り、

小学校を利用して実施、地域の方々が運営委員となり、委員長には小松先生が就かれました。

放課後3時間、3名の指導員とともに学習、室内・外あそびなどで過ごしています。

長期休業は活動時間が4時間となり、地域の方を講師として招き、料理、陶芸、工作、茶道、音楽等体験をしています。もちろん、学習にも力を入れていきます。

今年より、新しく中野康範委員長のもと、ふくろう塾・井原っ子クラブは、活動を継続しています。

子どもは、地域の宝です。皆様のご理解お願いします！



私は、平成17年に井原小学校で退職しました。在任中、留守家庭子ども会の設置について地域の方々や市教委に要望してきましたが、児童数の少なさから設置を認めてもらえませんでした。そこで当時の自治会長であった古川先生や鳴谷先生と話し合い、『ふくろう塾』を開設することになりました。(後半、市教委のプレイスクールとしても認められ「井原っ子クラブ」と併設となり、佐々木博信さんなど地域の団体長さんの協力も得ることとなりました)

外遊びの少ない子どもたちに、井原の豊かな自然を活用した活動と、宿題などの学習面でもお世話をしようという形で子どもたちを預かることにしました。活動を進めていくと地域の方々の援助・協力が沢山あり、また、私のわがままな思いもあり、多様な活動となりました。畑を借りての野菜作り、三篠川での魚つりや力又ー、季節感を味わってほしくて花見、ギンナンとり、神社やお寺巡り町中の散歩など多くの経験、体験をすることができました。

この期の子どもに手を使った活動をさせたいと、ものづくりにも取り組みました。金魚ちょうちん作り、モビール、勾玉など。また、地域の方の協力で陶器づくり、その作った茶碗を使ってお茶会、将棋や百人一首もしました。百人一首は、百首全部覚える子がたくさんいて、驚きでもあり、うれしくもありました。もちろん大会も開いて楽しみました。

15年間、長いようで短くも思います。取り組みに熱中する子どもたちの姿は本当にうれしかったです。私の気ままな取り組みに全面的に協力していただいた多くの方があったからこそです。

感謝のほかありません。ほんとにありがとうございました。井原地区のますますの発展をお祈りしております。

ふくろう星人 小松英明

この度3月末日をもって、15年間ご尽力いただき、退任された小松先生より、地域の皆様に手記をいただきました。

本当に長い間、井原のために有り難うございました！





## 特集

長年、井原地区社協で事務局長を勤めていただいた奥秀信さんのインタビューを組ませていただきました。是非お読みください。

### 一、体協や他の団体を含めて社協活動歴を教えてください。

井原小学校、白木中学校のPTA副会長として6年  
体育協会では赤組支部長、  
体育協会会長として10年  
井原地区青少年健全育成協議会事務局長8年  
白木町青少年健全育成連絡協議会を平岡会長と立ち上げ、白木町青少年健全

育成意見根発表大会を実施し20年  
社会福祉協議会では、副会長3年・事務局長として40年。  
広島市民生委員児童委員として75歳までお世話になりました。(通算13年)

### 二、その中で、一番記憶に残っていることは？

小学校PTA副会長の時、  
体育倉庫の設置位置で学校とPTAで思いが合わず、校長、PTA会長、役員の中で、今の位置に決まった時、  
多くの方々のお世話に感謝し、体育倉庫を見るたびに苦勞したことを思い出します。  
体育協会会長になって初めて井原地区体育祭を開催したとき、住民の方から「井原の皆が一堂に集まることはないの、良い事をしてくださいね!!」と言われた言葉がうれしかった。  
社会福祉協議会の時に、片村内科医院が当地に開院された時、副会長として祝賀会に招かれ、祝辞の挨拶をさせてもらったことが、とて

も印象に残っています。

### 三、現在の状況は？

社会福祉協議会での肩の荷は降りましたが、上井原の営農組合の会長(17年目)や、白木町農事研究会の役員、広島市農業委員会の農業委員・農地利用最適化推進委員として10年目を迎え、楽しくお世話させていただいています。

### 四、井原で生まれ、学業も井原から通学、仕事も井原から通勤されて、井原をどう思われていますか？

子供が小学生の時に、子供会の運営資金を作る為、家庭から新聞や雑誌段ボール等を集め、販売所に4トン車で運んだ時に皆さんは気持ちよく協力していただいたことは、とてもうれしく思いました。  
井原に生まれて82歳になりました。多くの団体組織でお世話になり、多くの方々に助けていただいたお陰で今があります。井原は素晴らしいところです。

### 五、後輩への社協活動やその他、もろもろの助言、要望は？

事務局は何でも屋、情報の収集発信局です。

### 六、パソコン習得・広報紙発行の苦勞と、現在も、パソコンをどのように利用されているか教えてください？

パソコン習得の苦勞はなく、各組織の事務局も、パソコンで資料作りができるのが楽しみで事務局を受け入れました。  
広報紙は、紙面の配置や原稿依頼が大変ですが、職場で広報紙作りの講習を受けていたので、いかに発揮できるか楽しく取り組みました。  
パソコンは、とても便利で、インターネットで、幅広く情報収集や買物物が出来、今お世話している役の資料作りに楽しく活用しています。

何でも楽しくないと長続き出来ません。楽しくやりましょう!

現在も、社協で監査を勤めていただいております、頭のさがる思いです。

## 社協評議委員の変更について

変更の評議委員のみ記載しております。  
(敬称略)

・井原地区女性会

政田 良子

・自主防災会連合会

池岡 正康

・子ども会育成協議会

金羽木 優次

・迫田自治会 福祉委員

河原 清和

・老人クラブ連合会

沼崎 洋三

・民生委員・児童委員

戸石・新宮・迫田担当

光宗 美穂

江地・見張・大寺担当

谷川 温子

\*井原・志屋地区の主任児童委員は、志屋地区の中矢和明さまが担当されます。

前任の方々、有難うございました  
**見直して 老人クラブを!**

最近、老人クラブのメンバーが減少傾向。とは言え、白木地区では、10のクラブに770人の皆さん。さて、井原学区は1クラブ38人。高齢化が進む今、老人クラブの力が大きく期待される昨今、今一度高齢化の力を合わせ、共に住んで良かった地域づくりを!



## 社協事務局だより

### 敬老祝賀会中止のお知らせ

本年度の敬老祝賀会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とさせていただきますので、ご了承下さい。八十歳・八十五歳・九十歳・九十五歳のかたには、記念品を送らせていただきます。

なお、今後の行事につきましても、新型コロナウイルス感染状況をみて判断していきたいと思っております。ご理解よろしくお願ひします。

### 現在の協議事項

事務局では、現在、左記の件を協議しております。

① 第2次の「福祉のまちづくりプラン」

② 井原地区社協の会則変更

### コロナウイルス感染防止

#### 一人ひとりの基本的対策

① 身体的距離の確保

(最低1メートル)

② マスクの着用

③ 手洗い

\* 右記のことを、是非徹底しましょう!

## 福祉の灯

井原地区社会福祉協議会に対し、左記の皆様から、多額の寄付をいただきました。

皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に厚くお礼を申し上げます。ここに報告いたします。

(令和2年1月～7月)

1月 小田 金羽木良治様

(故) 金羽木 保様

高瀬 市川 良子様

(故) 久留島ハル子様

2月 新宮 島津 美智子様

(故) 島津 昌雄様

下市 高橋 秀明様

(故) 高橋 守様

上市1区 平岡 明彦様

(故) 平岡 ミトヨ様

3月 新宮 坂川 豊和様

(故) 坂川 正明様

中市 山根 貴和様

(故) 山根 伊都子様

日詰 中川 浩一様

(故) 中川 ミヨ子様

下市 蜂須賀一成様

(故) 蜂須賀ユスエ様

4月 下市 政岡 美幸様

(故) 平岡 香様

明神 加藤 秀紀様

(故) 加藤 政恵様

7月 上市2区 横山 圭子様

(故) 渡辺 真江様

### 〈編集後記〉

事務局を担当して、1年となりました。今年2月下旬より、新型コロナウイルス感染の問題で、社協の諸行事を中止し、総会も書面審議で決裁させていただきました。

早、七月となり、2年前の豪雨災害にも匹敵する雨も降り続き、重苦しい日々が続いています。

こんな時だからこそ、地域の助け合い・支え合いが重要であるとおもいます。隣・近所・地区と「わ」をひろげていければと思います。

